

学 生 の



# 災害の備え、 できていますか？



み な さ ん

「天災は忘れたころにやってくる」まさに東日本大震災は予期せぬ大災害でした。これを教訓に次の大災害に備え、学生のみなさん(特に一人暮らしの方)も災害への備えを心掛け、災害を乗り切れるようにご協力をお願いします。

## 学校内・バイト先での被災に備えて



### 帰宅困難者にならない！

歩いて帰ることを想定した準備をしてください。

- 帰り道の下調べ(危険個所、トイレのある公園、迂回路など)
- 非常用グッズの準備(非常食、水、携帯トイレなど)
- 情報入手手段の確保(携帯電話、スマホの充電など)

### 連絡体制を決めておく！

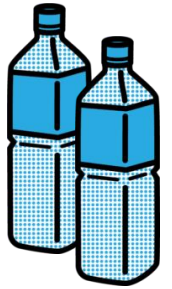
災害時、携帯電話はつながりにくくなる、とってください。

- 家族・友達等との連絡方法、避難場所などの確認
- 公衆電話用の小銭を確認(携帯電話よりかかりやすい)

### 安全確認がとれるまで学校内・バイト先に留まる！

緊急を要さない移動は控え、時間差で帰宅するようにしてください。

- 正しい情報の入手手段の確保
- 非常用グッズの準備(非常食、水、防寒対策など)
- ボランティア活動の準備(地域住民等が避難してきた場合、教職員等の手伝いなど)
- 学校内の危険個所の事前確認(倒れやすい本棚、高圧ガスや劇毒物を扱う場所など)



## 自宅での被災に備えて



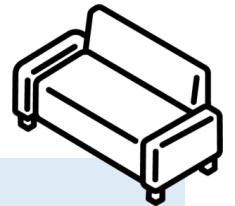
### 安全な場所の確保！

大規模な災害時には、停電や断水などライフラインの停止が想定されます。

しかしながら、「ライフラインの停止＝避難所へ避難」ではありません。

自宅が安全な場合は自宅に留まってください。そのためにも日ごろからの準備が必要です。

- 食料、飲料水などの備蓄(スーパー等の閉店を想定)
- 倒れやすい家具の固定、窓ガラスの飛散防止
- 常に燃料は満タンを心掛ける(バイク・自家用車など)
- 災害時に助け合える友達づくり(災害時に孤立しない)
- 町内会活動への参加(地域で自分の存在をアピールしないと助けてもらえません)



※ご紹介したのはほんの一例です。各自必要な準備をお願いします。

